

○番号は、重点項目

評価は、4に近いほど高い評価

学校経営ビジョン	重点目標	番号	ゴールイメージ	自己評価		自己評価コメント	評価ポイント	学校関係者評価コメント
				教師	児童			
し、生命と人権の尊重を学校経営の根幹に努める。職員一体となって、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す	確かな学力の定着・向上(学びを深める)	①	意欲的・主体的に取り組める授業	教師	3.0	基礎・基本の定着を図るとともに、自分の考えをもち、生き生きと表現できる児童の育成を目指している。今までよりも自分の考えを堂々と述べる児童が増えてきている。今後も、学習形態を工夫したり、ICTを活用したり、ワークシート等を活用したりして授業を進めていきたい。	3.3	○ 教師と児童の一体感を感じ、児童が、伸び伸びと授業を受けている。 ○ 先生方の字がとてもきれいで見やすく、資料の準備がよくなされ、パソコン等を使った授業をされているのにも感心した。 ○ 自分の意見をしっかり言える授業の雰囲気づくり、進め方が素晴らしい。そのおかげか、ほとんどの児童が、生き生きと授業を受けている姿勢が見受けられた。今後も、児童が伸びる声かけ、言葉かけを行ってほしい。 ○ 児童と教師が、お互いを尊重しあいながら素晴らしい授業が行われていた。児童に問いかけながら、考えさせ、発表させ、楽しく生き生きとした授業だった。 ○ 児童が、主体的、積極的、集中して学んでいる姿が、各教室で見受けられる。更なる学力向上につなげてほしい。
				児童	3.2			
				保護者	3.2			
	2	学習習慣の定着している授業	教師	2.9	授業開始前に黙想をしたり、「立腰」の号令で姿勢を整えたりして、集中して学習に取り組めるようにしている。学習習慣を身に付けさせたり、個に応じた指導を充実させたりすることが、学習の確実な定着と全体の底上げにもつながっていくので、今後も継続していきたい。	3.2	○ 全体的に児童の姿勢が良く、生き生きと授業を受けている様子が見られた。 ○ 教師と保護者の評価が低い。学校と家庭がしっかり連携して、学習習慣を身に付けるよう情報共有して行ってほしい。家庭教育の充実も重要である。 ○ 先生方の指導方法がよい。児童も集中して取り組んでいる。先生方の連携で、習熟度の底上げを期待したい。 ○ 児童が集中しており、教師の指導が児童に定着している。 ○ しっかりしている児童、おとなしい児童は目立つが、普通の児童への声かけが底上げにつながるような気もする。	
			児童	3.1				
			保護者	2.9				
	③	気持ちのよいあいさつ	教師	3.0	教師自ら積極的にあいさつを行い、模範となるように心がけている。児童へは、あいさつの意義について発達段階に応じて伝えるようにしている。家庭へも呼びかけながら、取り組んでいる。	3.3	○ 「あいさつは基本」です。自ら進んであいさつするように継続して指導をお願いします。 ○ 1年生の見守り下校指導では、いつも明るいあいさつをしてくれて、とても気持ちがよい。 ○ 学校内でも地域でも、元気なあいさつが実践されており、元気をもらっている。校長先生をはじめ、先生方の指導の賜物である。 ○ 学校訪問者に対して児童自らのあいさつが少なく感じるため、今後も学校内のみならず、自らあいさつができるよう取り組んでほしい。 ○ 登校時のあいさつは、よくできている。下校時も朝と同じようにできるとなおよい。 ○ 校内での来客や先生に対し、廊下ですれ違うときなどの目礼は好印象を受ける。質の高いあいさつだと感じた。 ○ 地域でもよくあいさつをしている。大人もつられてあいさつを返して、気持ちいい。	
			児童	3.5				
			保護者	3.1				
	4	人権尊重や望ましい人間関係の醸成	教師	3.2	悩みアンケートや教育相談週間での取組だけでなく、日頃から児童一人一人を見つめ、気になる時には声かけを行っている。また、参観日で人権に関する授業を行い、家庭との連携を図るようにしている。今後も児童が安心して登校できる学校づくりに努めていきたい。	3.4	○ 児童の評価3.7という数字から、理想的な人間関係、友人関係が構築できていることだと思う。諸問題発生初期段階で的確な指導ができていた。 ○ 児童に対する目配り・気配りが良くてきている。それが先生と児童の信頼関係につながる。いじめや不登校の防止にもつながるので、家庭・保護者・地域のみまもり隊の方々や連携を取り、指導をお願いしたい。 ○ 本校区は、保護者の意識も高い。連携を密にすることが大切だと思う。アンケートや教育相談だけでなく、先生方からの声かけは、児童や保護者の安心につながると思う。今後もこまめな配慮をお願いします。	
			児童	3.7				
			保護者	3.3				
5	健康に留意した学校や家庭生活	教師	3.1	風邪やインフルエンザ等の流行前には、保健集会で委員会の児童による呼びかけを行ったり、保健室から家庭へも文書を出したりして、予防に努めている。また、日頃から「手洗いうがい」の大切さについて指導を行うようにしている。	3.2	○ 健康管理は、日頃から「手洗いうがい」を継続的に指導することが大切である。 ○ 病気の予防にも、基本はやはり「早寝・早起き・朝ごはん」である。今後も家庭と連携して、指導に努めてほしい。 ○ 手洗いうがいの指導は、保護者にもしてほしい。 ○ 風邪やインフルエンザは、県内の他地区ほど増加していないとのこと。さらに予防に努めてほしい。 ○ 毎年、大きなインフルエンザの流行もないようで、日頃の指導や啓発が生きている。		
		児童	3.5					
		保護者	3.3					
⑥	(生活・交通・災害)安全教育的の充実	教師	3.3	普段から安全指導を繰り返している、児童の安全への意識を高めるようにしている。今後も、交通教室や登校班長会、集団下校等での安全指導、避難訓練等での防災への意識を高めていきたい。	3.4	○ 「命」の大切さを、自分の命は自分自身で守ることを、定着させることが大切である。 ○ 学校周辺は、坂道がとにかく多い。たまに危ない児童を見かけるので、一時停止や自転車スピードを出し過ぎないなど、今後も継続指導をお願いします。 ○ 今後も命の大切さをいろいろな方法で伝え、安全指導をお願いします。 ○ 登校時は良く守られている交通ルールも、下校時には少し乱れている。気持ちの緩みがあるのではないだろうか。下校後、出かけるときも、守られていないように見受けられる。特に、自転車等の安全行動と命の大切さは、保護者にも行った方がよい。 ○ 登校・下校の様子は良好と思われる。特に、登校は、班長さんのリードがよい。		
		児童	3.6					
		保護者	3.3					
⑦	家庭・地域と連携した教育の充実(地域とつながる)	教師	2.5	教師が、児童の地域行事等への参加の様子を把握するとともに、今まで以上に教師自ら積極的に参加するように努めていきたい。	3.1	○ 敬老会(9月)のとき、子ども会で歌を歌ってくれるのが、とてもありがたいです。 ○ 子ども会や地域の行事など、多くの児童が参加していると感じている。 ○ 各行事で先生方の参加が見られる。子どもたちも喜び、気が引き締まると感じている。今後もお願いしたい。 ○ ふれあいin小松台は素晴らしい。学校と地域、保護者が一つになり、児童に色々なことを体験させながら、地域とのつながりを強くして、とてもよいと思う。 ○ 学校通信で児童の様子や学校内での取組がよく分かる。続けてほしいです。 ○ 伝統行事等への参加は、下小松・上小松地区には、神楽(3月初め)が伝承されているので、色々な行事を案内してはどうでしょうか。 ○ 児童の地域行事参加の様子は、様々な機会や文書を通じ、賞賛してほしいと願います。(くすのき通信等)		
		児童	3.4					
		保護者	3.1					

総評	<p>○ 学校にパソコンが配備されており、低学年からその教育を行っており、大変素晴らしいと思う。</p> <p>○ 児童の自己評価が全ての項目で高ポイントになっており、学校の取組がうまく子どもたちに伝わっていることが分かる。この取組を継続してほしい。</p> <p>○ 公園などにゴミが捨てられていることがある。ペットボトル、お菓子の袋、水風船等、家庭と連携してごみゼロ運動を実施してほしい。</p> <p>○ 校内花壇には、季節の花が美しく咲いており、落ち着いた校内環境で教育が行われている様子が分かる。</p> <p>○ 自分の意見をしっかりと述べる児童、積極的にあいさつができる児童像は、とても良いことであり理想です。今後も重点目標を達成するべく学校全体で取り組んでいきたいと思ひます。また、自分の意見を語れる場、誤っても否定されない場、小さい声であいさつしても笑われない温かな雰囲気づくりをお願いします。</p>
----	--